



南小ホームページQRコード

今年度も残すところ1ヶ月となりました。日中は暖かく春の訪れを感じる日もあります。時間が経つのは本当に早いものですね。

さて、今月は本校の「ひまわり学級」での支援についてお話します。

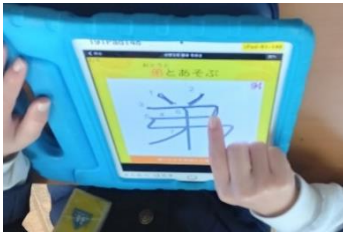
今月のテーマ 困り感をもつ児童の具体的支援について～その2～



ひまわり学級では、少人数で、個にあった内容やペースで学習を行っています。在籍している児童の中には、長い文章を読むのが難しかったり、文字の形を整えて書くことが苦手だったりする子がいます。また、大きい数を数えたり、円や線を書いたりすることが苦手な子もいます。通常の学級にも、多かれ少なかれ当ではまる児童がいるかもしれませんが、ひまわり学級の児童はこういった困り感をより強くもっています。そこで、ひまわり学級では、こういった困り感を軽減するために、教材を工夫し、安心して自分の力だけで問題が解けるような手立てをとっています。今回は、ひまわり学級で行っている学び方の工夫について、教科ごとに紹介します。

【国語】

国語の学習では、漢字の読みや書き順を覚えやすくするために、タブレットのアプリを使っています。文字が大きく表示されるので見やすく、細かい部分まで正確に覚えることができます。読みは、漢字にイラストが添えられていて、覚えやすくなっています。楽しみながら繰り返し学習を行っています。



【社会】

社会の学習は、それぞれの学年に応じた内容を行っています。学習の内容に関係した写真や動画を準備し、それを参考にしながら児童が気づきやまとめを学習用端末に入力していきます。写真や動画を手元の画面で繰り返し見ることができます。また、学習用端末をワークシート代わりにするので、書くことへの抵抗も少なくなります。



【算数】

算数の学習では、主に時計やながさ、かさ、たし算・ひき算・かけ算などの計算の学習を中心に行っています。ブロックやお金などの具体物を操作することで、数の大きさを視覚的にとらえることができます。時計には目盛りの横に数字を書いて、何時何分かすぐわかるようにしています。



【理科】

理科の学習は、それぞれの学年に応じた内容を行っています。実験の様子をいつでもふり返られるようにカメラで録画をしておきます。その録画した映像をふり返る時に何度も繰り返し見ることができ、実験の結果や観察の様子を視覚的に確認することができます。

